

事業所名

児童くらぶ ぱらそる

## 支援プログラム（令和8年度）

作成日

2026

年

3

月

20

日

法人（事業所）理念		障がいの有無にかかわらず、すべての子供に障がいがあっても、その家族がその人らしく生きる為に、休養や精神的ケア・就労の自由が約束される社会を目指します。また、地域全体で子どもを支援できるように、開かれた事業所を目指します。									
支援方針		安心・安全な居場所作り・楽しい療育の場・家族支援・どのような子どもでも利用できる・地域との連携を柱に、利用される子どもの成長を促すための支援に取り組んでいる。									
営業時間		(月～金)	9	時	30	分から	18	時	30	分まで	
		(土・祝・長期)	8	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	子どもの健康状態を把握し、生活能力の向上や自立に向けて必要なスキルが身につくように支援している。活動に必要な物品（身支度）や整理整頓を子ども主体で行い必要なスキルを身につけ、食事のマナーや他者への挨拶など社会性の支援に取り組んでいる。									
	運動・感覚	バランス感覚や筋力の向上・強化を様々な活動（遊び）を通して育んでいる。また、工作等（ハサミの使い方や粘土等）で指先の使い方を学んでいる。全身運動と微細運動を適度に行うことで感じ方が豊かになる様支援を行っている。									
	認知・行動	物の名前や色、相手の表情や動作、時系列や空間認識等を理解して日常生活で活かせる様に活動内に取り入れている。必要な情報のみを収集して、次の動作へ移れるように促す支援をしている。									
	言語 コミュニケーション	言語習得やコミュニケーション手段を活用し自分の思いを伝える。相手の思いを汲み取り考えられる様、コミュニケーション能力向上に向けて支援している。挨拶や相手との会話の中で様々なコミュニケーション手段を見つけ、人とつながる為の力を伸ばしていく。									
	人間関係 社会性	遊びや地域での活動を通し、ルールやマナーを学び集団への参加が出来る様に支援している。また、他者との関わり周囲の人との距離を自分で考えて行動に移して行ける様支援している。									
家族支援		保護者とのコミュニケーションを密に取り、相談事等を早期に解決できる様に関係機関を交えて会議し、保護者の負担を軽減できる洋紙支援している。						移行支援			
地域支援・地域連携		子どもたちの豊かな経験を増やす為に、世代間との交流や地域の方との交流を進んで行い、地域への行事へも積極的に参加している。						職員の質の向上		社内・社外研修等 事業所内での課題を明確にし、解決に向けての検討をその都度行う。	
主な行事等		季節に合わせての行事を大切に、四季折々の自然の景色やその中での感覚を楽しみ、感性や想像力を刺激する事で豊かな感情を感じれるように取り組んでいる。 (三社参り、登山、川遊び、親子レクリエーション、芋煮会、デイキャンプ、夕涼み会、伊田神幸祭、流しそうめん等)									